

教育課程等の概要														
(看護学研究科看護学専攻 博士前期課程)														
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通基盤科目	看護学研究Ⅰ (研究方法)	1	1			○			2	2		5		
	看護学研究Ⅱ (研究疑問と研究デザイン)	1	1			○			2	3		4		
	看護学研究Ⅲ (研究倫理)	1	1			○			2	1	2	3		
	看護学研究Ⅳ (アクションリサーチ&プロジェクト型研究)	1		1		○			2	2	1			
	アカデミックコミュニケーションⅠ (リーディング&リスニング)	1		1		○				2	1	1		
	アカデミックコミュニケーションⅡ (ライティングの基礎)	1		1		○				2	1	1		
	アカデミックコミュニケーションⅢ (日本語での論述)	1		1		○			1	2				
小計(7科目)	—	3	4			—		8	8	3	11			
実装モジュール	看護革新力の基礎	1	1			○			4	2	1	3		
	EBP実装	1		1		○			1	1				特定看護学Pで必修
	プロジェクト・マネジメント	1		1		○			1	1	1			看護管理学Pで必修
	看護管理学	1		2		○			2		1			高度実践看護学Pで必修
	看護教育学	1		2		○			1		1			高度実践看護学Pで必修
	専門職連携教育論	1		1		○			1	1	2			
	専門職連携実践論	1		1		○			1	1	2			
小計(7科目)	—	1	8			—		5	5	4	3			
実践モジュール	看護理論	1		1		○			2			3		高度実践看護学Pで必修
	看護倫理	1		1		○			1					高度実践看護学Pで必修
	e-learning・演習臨床推論	1		1			○		2	1		1		特定看護学Pで必修
	ナースがフィジカルアセスメント	1		2			○		1			1		兼8 高度実践看護学Pで必修
	臨床病態学	1		2		○			1					兼3 高度実践看護学Pで必修
	臨床薬理学	1		2		○			1					兼3 高度実践看護学Pで必修
	e-learning・演習フィジカルアセスメント	1		1			○		2	1		2		特定看護学Pで必修
	e-learning・演習臨床病態生理学	1		1			○		3	1	1	1		特定看護学Pで必修
	e-learning・演習疾病臨床病態学	1		1			○		3	1	1	1		特定看護学Pで必修
	e-learning・演習臨床薬理学	1		1			○		2	1		1		特定看護学Pで必修
	コンサルテーション	1		1		○			1			1		兼1 高度実践看護学Pで必修
	看護専門職論	1		1		○			3	1				
	組織マネジメント論	1		1		○			1	2	1			
	e-learning・医療安全学	1		1		○			2	1	1	2		特定看護学Pで必修
	災害マネジメント論	1		1		○			1	2				5大学災害看護コアプログラム科目
	災害専門職連携演習	1		1			○		1	1	1			5大学災害看護コアプログラム科目
	災害看護活動論(復旧・復興)	1		1		○			1	2				5大学災害看護コアプログラム科目
地域包括ケア論	1		1		○			1	2	2	2		特定看護学Pで必修	
看護政策	1		1		○			1	3	1			兼2 高度実践看護学Pで必修	
小計(19科目)	—		22			—		13	9	5	6		兼14	

専門科目	看護学コース	先端実践看護学Ⅰ	1	1			○			5	3	1	6		主専攻のⅠ選択必修 主専攻のⅠ選択必修 主専攻のⅠ選択必修 主専攻のⅡ選択必修 主専攻のⅡ選択必修 主専攻のⅡ選択必修	
		生活創成看護学Ⅰ	1	1			○			7						
		文化創成看護学Ⅰ	1	1			○			5	4	1	2			
		先端実践看護学Ⅱ	1	1			○			5	3	1	6			
		生活創成看護学Ⅱ	1	1			○			1	4	2	6			
		文化創成看護学Ⅱ	1	1			○			5	4	1	2			
専門科目	看護実践学コース	看護管理学P	先端実践看護管理学Ⅰ	1	1			○			2				小児看護専門看護師取得の場合 " " 兼2 " " がん看護専門看護師取得の場合 " 兼1 " " 兼2 "  1科目群以上必修 1科目群以上必修 1科目群以上必修 1科目群以上必修 兼5	
			生活創成看護管理学Ⅰ	1	1			○			5	3	2	5		
			文化創成看護管理学Ⅰ	1	1			○			4	4	2	2		
			先端実践看護管理学Ⅱ	1	1			○				2				
			生活創成看護管理学Ⅱ	1	1			○			5	3	2	5		
			文化創成看護管理学Ⅱ	1	1			○			4	4	2	2		
	高度実践管理学P	小児看護学A	1	2			○			1	1		2			
		小児看護学B	1	2			○			1	1		2			
		小児と環境の査定	1	2			○			1	1		2			
		小児の病態・治療	1	2			○			1	1		2			
		小児の保健・医療制度	1	2			○			1	1		2			
		成人看護学A	1	2			○			2			1			
		成人看護学B	1	2			○			2						
		臨床腫瘍学概論	1	2			○			2						
		腫瘍医療のアップデート・イノベーション	1	2			○			2	1					
		エントプライケ看護学	1	2			○			1	2					
	特定看護学P	特定看護実践論Ⅰ	1	1			○			4		1	1			
		特定看護実践論Ⅱ	1	1			○			3	1		3			
		クリエイティブ科目群	1～2	8				○		2			1			
		リハビリテーション科目群	1～2	8				○		2			1			
		ロングターム科目群	1～2	6				○		1			2			
		コンフォート科目群	1～2	5				○		1	1	1				
		小計(28科目)	—	61			—			17	11	6	14			
	看護学演習・実習	看護学コース	看護研究演習	1	6			○			17	10	1	1		
			看護管理学演習	1	6			○			9	7	1			
		高度実践看護学P	看護学実習Ⅰ	1	2				○		3	1		2		
			看護学実習Ⅱ	1	2				○		3	1		2		
			看護学実習Ⅲ	1～2	6				○		3	1		2		
看護学演習	1	4				○		3	1		2					

	特定看護学P	特定看護実習 特定看護演習	1~2 1~2	6 4				○	○	6 6	1 1	1 1	3 1			
		小計 (8科目)	—	36				—		17	10	2	5		兼2	
	特別研究・ 課題研究	理論開発特別研究 看護管理課題研究 専門看護特別研究 特定看護課題研究	2 2 2 2	12 12 12 6				○ ○ ○ ○		17 9 3 6	9 7 1 1	1 1	1 1		看護学コース 看護管理学P 高度実践看護学P 特定看護学P	
		小計 (4科目)	—	42				—		17	10	1	3			
国際 プロ グラ ム	E l e c t i v e	Theoretical Bases for Nursing Education	1		2			○		1						
		Community Health Nursing Administration	1		2			○		2						
		Issues and Trends in Nursing	1		2			○		1	2	1				
		Special Topics in Nursing Research	1		2			○		1						
		Independent Study in Nursing	1~2		2				○	6						
	S G e r a d u a t e	Advanced Nursing Research	1	2				○		3	3					
		Nursing I	1	2				○		4						
		Nursing II	1	2				○		4						
		Graduate Seminar I (Cultural Nursing Studies)	1	4					○	1						
		Graduate Seminar II	1	4					○	4						
T M h e s i s , s	Master' s Thesis	2	12													
		小計 (11科目)	—	26	10			—	7	5	1					
		合計 (84科目)	—	149	48	0		—	17	11	6	14		兼19		

学位又は称号	修士(看護学)	学位又は学科の分野	保健衛生学関係(看護学関係)
卒業要件及び履修方法		授業期間等	
<p>博士前期課程各コース等における履修方法は下記のとおりで、さらに修士論文を作成し、最終試験に合格すること。</p> <p>1)看護学コースは、理論開発特別研究(12単位必修)、看護研究演習(6単位必修)、専門科目(2単位選択必修)、共通基盤科目(看護学研究Ⅰ～Ⅲ(各1単位必修)、看護革新力の基礎(1単位必修)、合計10単位以上)、合計30単位以上。</p> <p>2)看護実践学コース看護管理学プログラムは、看護管理課題研究(12単位必修)、看護管理学演習(6単位必修)、専門科目(2単位選択必修)、共通基盤科目(看護学研究Ⅰ～Ⅲ(各1単位必修)、看護革新力の基礎(1単位必修)、プロジェクト・マネジメント(1単位必修)、組織マネジメント論(2単位必修)、合計10単位以上)、合計30単位以上。</p> <p>3)看護実践学コース高度実践看護学プログラムは、専門看護特別研究(12単位必修)、看護学実習Ⅰ～Ⅲ(10単位必修)、看護学演習(4単位必修)、専門科目(10単位必修)、共通基盤科目(看護学研究Ⅰ～Ⅲ(各1単位必修)、看護革新力の基礎(1単位必修)、看護管理学(2単位必修)、看護教育学(2単位必修)、看護理論(1単位必修)、看護倫理(1単位必修)、ナースিং・ケアメント(2単位必修)、臨床病態学(2単位必修)、臨床薬理学(2単位必修)、コンサルテーション(1単位必修)、看護政策(1単位必修)、合計18単位以上)、合計54単位以上。</p> <p>4)看護実践学コース特定看護学プログラムは、特定看護課題研究(6単位必修)、特定看護実習(6単位必修)、特定看護演習(4単位必修)、専門科目(1科目群以上7～29単位必修)、共通基盤科目(看護学研究Ⅰ～Ⅲ(各1単位必修)、看護革新力の基礎(1単位必修)、EBP実装(1単位必修)、e-learning演習臨床推論(1単位必修)、e-learning・演習ナースিং・ケアメント(1単位必修)、e-learning・演習臨床病態生理(1単位必修)、e-learning・演習疾病臨床病態学(1単位必修)、e-learning・演習臨床薬理(1単位必修)、e-learning医療安全学(1単位必修)、地域包括ケア論(1単位必修)、合計13単位以上)、合計41～63単位以上。</p> <p>5)災害看護副専攻プログラム 博士前期・後期あるいは博士後期の学修に加え5大学災害看護コンソーシアム科目10単位以上を履修した学生には、博士後期課程の修了時に、災害看護副専攻プログラム認定証を発行する。</p> <p>6)国際プログラム 博士前期課程国際プログラムにおける履修単位数は32単位以上とし、必要単位の履修方法は、次のとおりである。1)看護病態学、成人看護学、地域看護学の中から、主専攻を選ぶ。2)主専攻に関する分野において、看護学Ⅰ～Ⅱ(計4単位)、看護学演習Ⅰ～Ⅱ(計8単位)、特別研究(12単位)を必修科目として履修する。3)上記以外に、看護学研究(2単位)を必修科目として履修する。4)上記以外の授業科目より6単位(他の大学院及び本学の他の研究科の授業科目4単位を含む。)を選択科目として履修する。</p> <p>※在学中に必ず一回以上留学を行うこと。</p>		1 学年の学期区分	6 ターム
		1 学期の授業期間	8 週
		1 時限の授業時間	90 分

(注)

- る学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等、研究科等若しくは高等専門学校(学位の種類及び分野の変更等に関する基準(平成十五年文部科学省告示第三十九号)別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。)についても作成すること。
- 1 私立の大学若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。
  - 2 開設する授業科目に応じて、適宜科目区分の枠を設けること。
  - 3 「授業形態」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。

教育課程等の概要														
（看護学研究科看護学専攻 博士後期課程）														
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通基盤科目	学際研究Ⅰ（導入）	1	1			○			3				1	
	看護革新力の展開	1	1			○			2	1			1	
	Academic Writing	1	1			○			1				1	
	学際研究Ⅱ（発展）	1～3		1		○			3				1	
	看護イノベーション特論	1～2		1		○			3	1			2	
	グローバル演習	1～2		1			○		2	1	1			
	Systematic Review	1～2		1		○			2	2	1			
	小計（7科目）	—	3	4			—		9	5	2	5		
専門科目	先端実践看護学特論	1	2			○			5	3	1		6	
	生活創成看護学特論	1	2			○			7					
	文化創成看護学特論	1	2			○			5	4	1		2	
	小計（3科目）	—	6			—			17	7	2	8		
ムコンソシア	災害マネジメント論	1～3		1		○			1	2				
	災害専門職連携演習	1～3		1			○		1	1	1			
	災害看護活動論（復旧・復興）	1～3		1		○			1	2				
	小計（3科目）	—		4		—			2	3	1			
特別演習	特別演習	1	2				○		17	11				
	小計（1科目）	—	2			—			17	11				
特別研究	特別研究	2～3	5					○	17	11				
	小計（1科目）	—	5			—			17	11				
国際プログラム	Philosophical and Methodological Bases of Nursing Inquiry	1		2		○			1					
	Interdisciplinary Research Seminar	1		2		○			2					
	Doctoral Seminar in Nursing Pathobiology	1		2		○			1					
	Doctoral Seminar in Adult Nursing	1		2		○			3					
	Doctoral Seminar in Gerontological Nursing	1		2		○			3					
	Doctoral Seminar in Community Health Nursing	1		2		○			1					
	Doctoral Seminar in Visiting Nursing	1		2		○			1					
Doctoral Seminar in Nursing Administration	1		2		○			1						

P r o c t o r i a l P r a c t i c i u m	Doctoral Practicum in Nursing Pathobiology	1		2			○		1				
	Doctoral Practicum in Adult & Gerontological Nursing	1		2			○		3				
	Doctoral Practicum in Community Health Nursing	1		2			○		1				
	Doctoral Practicum in Visiting Nursing	1		2			○		1				
	Doctoral Practicum in Nursing Administration	1		2			○		1				
D i s s e r t a t i o n	Dissertation in Nursing Pathobiology	2～3	6				○		1				
	Dissertation in Adult & Gerontological Nursing	2～3	6				○		3				
	Dissertation in Community Health Nursing	2～3	6				○		1				
	Dissertation in Visiting Nursing	2～3	6				○		1				
	Dissertation in Nursing Administration	2～3	6				○		1				
小計 (18科目)		—	30	26			—		10				
合計 (33科目)		—	46	29	4		—		17	11	4	11	
学位又は称号	博士 (看護学)	学位又は学科の分野			保健衛生学関係(看護学関係)								
卒業要件及び履修方法							授業期間等						
<p>博士後期課程における履修単位数は12単位以上とし、必要単位の履修方法は下記のとおりで、さらに博士論文を作成し、最終試験に合格すること。</p> <p>1) 共通基盤科目3単位を必修科目として履修する。</p> <p>2) 専門科目のうち、主専攻の特論のいずれか2単位を必修科目として履修する。</p> <p>3) 特別演習2単位を必修科目として履修する。</p> <p>4) 特別研究5単位を必修科目として履修する。</p> <p>5) 災害看護副専攻プログラム</p> <p>災害・広域看護学領域での博士前期・後期あるいは博士後期の学修に加え5大学災害看護コンソーシアム科目10単位以上を履修した学生には、博士後期課程の修了証に博士号(看護学) Disaster Nursing Global Leader を付記する。また、他領域で博士前期・後期課程を学修すると共にコンソーシアム科目を10単位以上履修した学生には、災害看護副専攻プログラム認定証を発行する。</p> <p>6) 国際プログラム</p> <p>博士後期課程国際プログラムにおける履修単位数は12単位以上とし、必要単位の履修方法は、次のとおりである。1)看護病態学、成人・老年看護学、地域看護学、訪問看護学、管理看護学の中から、主専攻を選ぶ。2)主専攻の「特論」(2単位)を必修科目として履修する。3)主専攻の「特別演習」(2単位)及び「特別研究」(6単位)を必修科目として履修する。4)「選択」科目から2単位を履修する。</p> <p>※在学中に必ず一回以上留学を行うこと。</p>							1学年の学期区分		6ターム				
							1学期の授業期間		8週				
							1時限の授業時間		90分				

(注)

- 1 学部等、研究科等若しくは高等専門学校等の学科の設置又は大学における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には、授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等、研究科等若しくは高等専門学校等の学科(学位の種類及び分野の変更等に関する基準(平成十五年文部科学省告示第三十九号)別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。)についても作成すること。
- 2 私立の大学若しくは高等専門学校等の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。
- 3 開設する授業科目に応じて、適宜科目区分の枠を設けること。
- 4 「授業形態」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。

## 教育課程等の概要

(看護学研究科看護学専攻 博士前期課程) (既設分)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通基盤科目	看護学研究Ⅰ	1	1			○			4	2		3		兼1	
	看護学研究Ⅱ	1	1			○			2	1		1		兼1	
	看護学研究Ⅲ	1	1			○			2		1	2		兼1	
	看護革新力の基礎	1	1			○			2	2		3		兼2	
	Academic CommunicationⅠ	1		1		○				2		2			
	Academic CommunicationⅡ	1		1		○						1		兼1	
	Academic CommunicationⅢ	1		1		○			1					兼2	
小計(7科目)		—	4	3	0	—			10	7	1	10	0	兼7	
専門科目	看護病態学Ⅰ	1		1		○			1						
	看護病態学Ⅱ	1		1		○			1						
	小児看護学Ⅰ	1		1		○			1						
	小児看護学Ⅱ	1		1		○			1						
	成人看護学Ⅰ	1		1		○			2						
	成人看護学Ⅱ	1		1		○			2						
	老人看護学Ⅰ	1		1		○			1	1					
	老人看護学Ⅱ	1		1		○			1	1					
	生活創成看護学	生体看護学Ⅰ	1		1		○			1					
		生体看護学Ⅱ	1		1		○				1				
		リプロダクティブヘルス看護学Ⅰ	1		1		○			1					
		リプロダクティブヘルス看護学Ⅱ	1		1		○			1					
		健康管理看護学Ⅰ	1		1		○			1					
		健康管理看護学Ⅱ	1		1		○			1	1				
		精神看護学Ⅰ	1		1		○					1			
		精神看護学Ⅱ	1		1		○					1			
		地域看護学Ⅰ	1		1		○			1					
		地域看護学Ⅱ	1		1		○			1					
		訪問看護学Ⅰ	1		1		○			1	1				
		訪問看護学Ⅱ	1		1		○			1	1				
	文化創成看護学	理論看護学Ⅰ	1		1		○			1	1				
		理論看護学Ⅱ	1		1		○			1	1				
		看護教育学Ⅰ	1		1		○			1					
		看護教育学Ⅱ	1		1		○			1					
		看護管理学Ⅰ	1		1		○								兼1
		看護管理学Ⅱ	1		1		○								兼2
	高度実践看護学	小児看護学A	1		1		○			1	1				
		小児看護学B	1		1		○			1	1				
		成人看護学A	1		1		○			2					小児看護専門看護師取得の場合必修
		成人看護学B	1		1		○			2					小児看護専門看護師取得の場合必修 がん看護専門看護師取得の場合必修 がん看護専門看護師取得の場合必修
	文化創成看護学	看護教育学	1		1		○			1					高度実践看護師共通科目A
		看護管理学	1		1		○								兼1 高度実践看護師共通科目B
小計(32科目)		—	0	32	0	—			11	6	1	0	0	兼3	

自由科目・選択科目	看護理論	1		1		○			1					兼2	高度実践看護師共通科目A	
	コンサルテーション	1		1		○			1		1			兼1	高度実践看護師共通科目A	
	看護倫理	1		1		○								兼1	高度実践看護師共通科目A	
	看護政策	1		1		○								兼1	高度実践看護師共通科目A	
	専門職連携実践論	1		1		○								兼1	高度実践看護師共通科目A	
	ナーシングフィジカルアセスメント	1		2			○		1					兼8	高度実践看護師共通科目B	
	臨床病態学	1		2		○			1						高度実践看護師共通科目B	
	臨床薬理学	1		2		○			1					兼2	高度実践看護師共通科目B	
	臨床腫瘍学概論	1		2		○			1					兼1	がん看護専門看護師取得の場合必修	
	腫瘍医療ケアコーディネーション	1		2		○			1					兼2	がん看護専門看護師取得の場合必修	
	エンドオブライフケア看護学	1		2		○			1					兼2	がん看護専門看護師取得の場合必修	
	小児と環境の査定	1		2		○			1					兼2	小児看護専門看護師取得の場合必修	
	小児の病態・治療	1		2		○			1					兼2	小児看護専門看護師取得の場合必修	
	小児の保健・医療制度	1		2		○			1					兼2	小児看護専門看護師取得の場合必修	
	肉眼解剖学特論	1		2		○			1					兼2	小児看護専門看護師取得の場合必修	
小計 (15科目)		—	0	25	0	—		6	0	1	0	0	兼18	—		
看護学演習 I	1	2				○		13	5		1					
看護学演習 II	1	2				○		13	5		1					
看護学演習 III	1	2				○		13	5		1					
看護学演習 IV	1	2				○		13	5		1					
看護学演習 (小児看護学)	1	4				○		1	1					兼2	小児看護専門看護師取得の場合必修	
看護学実習 I (小児看護学)	1	2				○		1	1					兼2	小児看護専門看護師取得の場合必修	
看護学実習 II (小児看護学)	1	2				○		1	1					兼2	小児看護専門看護師取得の場合必修	
看護学実習 III (小児看護学)	1	6				○		1	1					兼2	小児看護専門看護師取得の場合必修	
看護学演習 (がん看護学)	1	4				○		2						兼2	がん看護専門看護師取得の場合必修	
看護学実習 I (がん看護学)	1	2				○		2						兼2	がん看護専門看護師取得の場合必修	
看護学実習 II (がん看護学)	1	2				○		2						兼2	がん看護専門看護師取得の場合必修	
看護学実習 III (がん看護学)	1	6				○		2						兼1	がん看護専門看護師取得の場合必修	
特別研究	1	12				○		13	5		1					
小計 (13科目)		—	48	0	0	—		13	6	0	1	0	兼5	—		
国際プログラム	Elective	English Presentation	1		2		○							兼1		
		Theoretical Bases for Nursing Education	1		2		○							兼1		
		Community Health Nursing Administration	1		2		○							兼1		
		Issues and Trends in Nursing	1		2		○		1							
		Special Topics in Nursing Research	1		2		○		1							
		Independent Study in Nursing	1~2		2			○	1							
		Graduate Seminar	Advanced Nursing Research	1	2			○		1	2					兼2
	Nursing I		1	2			○		4							
Nursing II	1		2			○		4								
Graduate Seminar I (Cultural Nursing Studies)	1		4				○	1						兼5		
Graduate Seminar II	1	4				○	4									
Master's Thesis	Master's Thesis	2	12				○	4								
小計 (12科目)		—	26	12	0	—		4	2	0	1	0	兼7	—		
合計 (79科目)			78	72	0	—		13	7	2	14	0	兼31	—		
学位又は称号		修士 (看護学)		学位又は学科の分野				保健衛生学関係 (看護学関係)								



卒業要件及び履修方法	授業期間等	
<p>・看護学専攻（博士前期課程） 博士前期課程における履修単位は32単位以上とし、必要単位の履修方法は、次のとおりとする。 1) 共通基盤科目4単位を必修科目として履修する。 2) 専門科目のうち、主専攻の当該授業科目から2単位（※印）を必修科目として履修する。 3) 上記の授業科目に関する看護学演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ合計8単位及び特別研究12単位を必修科目として履修する。 4) 上記以外の授業科目より6単位（他の大学院及び本学の他の研究科の授業科目4単位を含む。）を選択科目として履修する。 5) 国際プログラム 博士前期課程国際プログラムにおける履修単位数は32単位以上とし、必要単位の履修方法は、次のとおりである。1) 看護病態学、成人看護学、地域看護学の中から、主専攻を選ぶ。2) 主専攻に関する分野において、看護学Ⅰ～Ⅱ（計4単位）、看護学演習Ⅰ～Ⅱ（計8単位）、特別研究（12単位）を必修科目として履修する。3) 上記以外に、看護学研究（2単位）を必修科目として履修する。4) 上記以外の授業科目より6単位（他の大学院及び本学の他の研究科の授業科目4単位を含む。）を選択科目として履修する。</p>	1 学年の学期区分	6 ターム
<p>※在学中に必ず1回以上留学を行うこと。</p> <p>・看護学専攻（博士前期課程：専門看護師認定試験受験希望者用） 博士前期課程（専門看護師認定試験受験希望者用）における履修単位は54単位以上とし、必要単位の履修方法は、次のとおりとする。 主専攻としてがん看護または小児看護のいずれかを選択し、前ページの表に示した必修科目を選択する。</p> <p>1) 共通基盤科目4単位を必修科目として履修する。 2) 専門看護師の各分野に対応する看護学A及びB（計4単位）を必修科目として履修する。 3) 専門看護師の各分野に対応する看護学演習2単位及び看護学実習Ⅰ（2単位）・Ⅱ（2単位）・Ⅲ（6単位）及び特別研究12単位を必修科目として履修する。 4) 高度実践看護師の共通目的に従い、共通科目Aとして、看護教育学Ⅰ（2単位）、看護管理学Ⅰ（2単位）、看護理論（1単位）、コンサルテーション（1単位）、看護倫理（1単位）、看護政策（1単位）の合計8単位を必修科目として履修する。また、共通科目Bとして、ナーシング・フィジカル・アセスメント（2単位）、臨床病態学（2単位）、臨床薬理学（2単位）の合計6単位を必修科目として履修する。 5) がん看護専門看護師希望者は、臨床腫瘍学概論（2単位）、腫瘍医療ケアコーディネーション（2単位）、エンドオブライフケア看護学（2単位）を必修科目として履修する。 小児看護専門看護師希望者は、小児と環境の査定（2単位）、小児の病態・治療（2単位）、小児の保健・医療制度（2単位）を必修科目として履修する。 6) 看護学実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ履修者は、別途実習費用が必要となる場合がある。</p>	1 学期の授業期間	8 週
<p>※在学中に必ず1回以上留学を行うこと。</p>	1 時限の授業時間	90分

（注）

- 1 学部等、研究科等若しくは高等専門学校等の学科の設置又は大学における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には、授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等、研究科等若しくは高等専門学校等の学科（学位の種類及び分野の変更等に関する基準（平成十五年文部科学省告示第三十九号）別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。）についても作成すること。
- 2 私立の大学若しくは高等専門学校等の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。
- 3 開設する授業科目に応じて、適宜科目区分の枠を設けること。
- 4 「授業形態」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。

教 育 課 程 等 の 概 要

（看護学研究科看護学専攻 博士後期課程）（既設分）

講座	教育研究分野	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
先端実践看護学	高度実践看護学	先端実践看護学特論Ⅰ（看護病態学）	1		2		○			1		1			兼1	
		先端実践看護学特論Ⅱ（小児看護学）	1		2		○			1			2			
		先端実践看護学特論Ⅲ（成人看護学）	1		2		○			2			2			
	高齢社会実践看護学	先端実践看護学特論Ⅳ（老人看護学）	1		2		○			1	1		2			
小計（4科目）			—	0	8	0				5	1	1	6	0	兼1	—
生活創成看護学	健康増進看護学	生活創成看護学特論Ⅰ（生体看護学）	1		2		○			1	1		1		兼1	
		生活創成看護学特論Ⅱ（リプロダクティブヘルス看護学）	1		2		○			1	1					
		生活創成看護学特論Ⅲ（健康管理看護学）	1		2		○			1	1					
	地域創成看護学	生活創成看護学特論Ⅳ（精神看護学）	1		2		○					1				
		生活創成看護学特論Ⅴ（地域看護学）	1		2		○			1			1			
		生活創成看護学特論Ⅵ（訪問看護学）	1		2		○			1	1		1			
小計（6科目）			—	0	12	0				5	4	0	3	0	兼1	—
文化創成看護学	文化看護学	文化創成看護学特論Ⅰ（理論看護学）	1		2		○			1	1		1			
	専門職育成学	文化創成看護学特論Ⅱ（看護教育学）	1		2		○			1	1					
	看護政策・管理学	文化創成看護学特論Ⅲ（看護管理学）	1		2		○			1	1	1				
	小計（3科目）			—	0	6	0				3	3	1	1	0	
共通	特別演習		2	2				○		15					兼1 兼1	
	特別研究		2	6				○		15						
	機能・代謝学研究方法特論		1	2		○				1						
	心理学研究方法論		1	2		○										
	人間工学研究方法論		1	2		○										
	継続教育研究方法論		1	2		○				1						
	学際研究（導入）		1	2		○				3			1			
	グローバル演習		1	2			○			1		1				
	看護イノベーション特論		1	2		○				3	1		2			
	システムティックレビュー		1	2		○				1	1	1				
	アカデミックライティング		1	2		○				1			1			
小計（11科目）			—	8	18	0				16	2	2	4	0	兼4	—
国	Elective	Philosophical and Methodological Bases of Nursing Inquiry	1		2		○			1						
		Interdisciplinary Research Seminar	1		2		○			2						
	Doctrnal Seminar	Doctoral Seminar in Nursing pathobiology	1		2		○			1						
		Doctoral Seminar in Adult Nursing	1		2		○			2						
		Doctoral Seminar in Gerontological Nursing	1		2		○			1						
		Doctoral Seminar in Community Health Nursing	1		2		○			1						
		Doctoral Seminar in Visiting Nursing	1		2		○			1						
Doctoral Seminar in Nursing Administration	1		2		○			1								

際 プ ロ グ ラ ム	Doctoral Practucum	Doctoral Practucum in Nursing pathobiology	1		2			○		1								
		Doctoral Practucum in Adult & Gerontlogical Nursing	1		2			○		3								
		Doctoral Practucum in Community Health Nursing	1		2			○		1								
		Doctoral Practucum in Visiting Nursing	1		2			○		1								
		Doctoral Practucum in Nursing Administration	1		2			○		1								
	Dissertation	Dissertation in Nursing pathobiology	2～3	6					○	1								
		Dissertation in Adult & Gerontological Nursing	2～3	6					○	3								
		Dissertation in Community Health Nursing	2～3	6					○	1								
		Dissertation in Visiting Nursing	2～3	6					○	1								
		Dissertation in Nursing Administration	2～3	6					○	1								
小計 (18科目)		—	30	26	0			—	9	0	0	0	0				—	
合計 (42科目)			38	70	0			—	16	10	4	11	0	兼5			—	
学位又は称号			博士 (看護学)			学位又は学科の分野			保健衛生学関係 (看護学関係)									
卒業要件及び履修方法									授業期間等									
<p>一 博士後期課程における履修単位は12単位以上とし、必要単位の履修方法は、次とおりとする。</p> <p>1) 次に示す中から各自が主専攻を選ぶ。</p> <p>先端実践看護学 生活創成看護学 文化創成看護学</p> <p>2) 主専攻の当該看護学特論 I～VIの中から2単位 (※印) を必修科目として履修する。</p> <p>3) 上記の授業科目に関する特別演習2単位及び特別研究6単位を必修科目として履修する。</p> <p>4) 「特別演習」「特別研究」以外の共通科目より2単位を選択科目として履修する。</p> <p>5) 国際プログラム</p> <p>博士後期課程国際プログラムにおける履修単位数は12単位以上とし、必要単位の履修方法は、次のとおりである。1) 看護病態学、成人・老年看護学、地域看護学、訪問看護学、管理看護学の中から、主専攻を選ぶ。2) 主専攻の「特論」 (2単位) を必修科目として履修する。3) 主専攻の「特別演習」 (2単位) 及び「特別研究」 (6単位) を必修科目として履修する。4) 「選択」科目から2単位を履修する。</p> <p>二 博士後期課程において、博士前期課程と主専攻が異なる者又は他の大学院の修士課程修了者の場合は、博士課程として一貫した教育を提供する趣旨から、上記一の履修単位に加えて、博士後期課程の主専攻の上記2) の授業科目に対応する博士前期課程の主専攻に関する授業科目 I～II から2単位を履修する。</p> <p>看護政策・管理学 (看護管理学) を主専攻とする者は、博士前期課程の看護管理学 I 及び II の2単位を履修する。</p> <p>※在学中に必ず1回以上留学を行うこと。</p>									1 学期の授業期間			8 週						
									1 学年の学期区分			6 ターム						
									1 時限の授業時間			90 分						

(注)

- 1 学部等、研究科等若しくは高等専門学校等の学科の設置又は大学における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には、授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等、研究科等若しくは高等専門学校等の学科 (学位の種類及び分野の変更等に関する基準 (平成十五年文部科学省告示第三十九号) 別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。) についても作成すること。
- 2 私立の大学若しくは高等専門学校等の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。
- 3 開設する授業科目に応じて、適宜科目区分の枠を設けること。
- 4 「授業形態」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。

## 教 育 課 程 等 の 概 要

(看護学研究科看護システム管理学専攻 修士課程) (既設分)

授業科目	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
		必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
病院看護システム管理学特論Ⅰ	2	2				○		1						
病院看護システム管理学特論Ⅱ	2	2					○	1						
病院看護システム管理学演習	1	6			○			1						
病院看護システム管理学課題研究	1	12			○			1						
ケア施設看護システム管理学特論Ⅰ	1	2			○			1						
ケア施設看護システム管理学特論Ⅱ	1	2			○			1						
ケア施設看護システム管理学演習	1	6			○			1						
ケア施設看護システム管理学課題研究	2	12				○		1						
地域看護システム管理学特論Ⅰ	2	2					○		1	1				
地域看護システム管理学特論Ⅱ	1	2			○				1	1				
地域看護システム管理学演習	1	6			○				1	1				
地域看護システム管理学課題研究	1	12			○				1	1				
実践看護評価学特論Ⅰ	1	2			○			1	1					
実践看護評価学特論Ⅱ	1	2			○			1	1					
実践看護評価学演習	1	6				○		1	1					
実践看護評価学課題研究	1	12			○			1	1					
継続教育・政策管理学特論Ⅰ	1	2			○			1	1					
継続教育・政策管理学特論Ⅱ	1	2			○			1	1					
継続教育・政策管理学演習	2	6				○		1	1					
継続教育・政策管理学課題研究	2	12					○	1	1					
情報活用論	1	2			○				1	1				
マネジメント実践論Ⅰ	1	2			○			4		1				
マネジメント実践論Ⅱ	1	2			○			4	1					
医療安全管理論	1		2		○			1						
看護政策論	1		2		○			1	1	2				
基礎情報活用論Ⅰ	1		1			○			2	1				
基礎情報活用論Ⅱ	1		1		○				2	1				

患者ケアサービス論	1		1		○			1								
看護経営管理論	1		1		○			1	1	1						
合計 (29科目)	—	116	8	0	—			4	4	4	0	0			—	
学位又は称号	博士 (看護学)		学位又は学科の分野			保健衛生学関係 (看護学関係)										
卒業要件及び履修方法							授業期間等									
履修単位数は30単位とし、必要単位の履修方法は、次とおりとする。 1) 次の中から各自が主専攻を選ぶ。 病院看護システム管理学 ケア施設看護システム管理学 地域看護システム管理学 実践看護評価学 継続教育・政策管理学 2) 主専攻に関する授業科目4単位、共通科目6単位、及び演習科目6単位、課題研究12単位を必修科目として履修する。 3) 上記以外の授業科目より2単位以上を選択科目として履修する。 なお、本学大学院看護学研究科看護学専攻博士前期課程の授業科目を含むことができる。 4) 課題研究は、現場の改革・改善に資するテーマについて修士研究を行う。 ※在学中に必ず1回以上留学を行うこと。							1 学期の授業期間					8 週				
							1 学年の学期区分					6 ターム				
							1 時限の授業時間					9 0 分				

(注)

- 1 学部等、研究科等若しくは高等専門学校等の学科の設置又は大学における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には、授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等、研究科等若しくは高等専門学校等の学科 (学位の種類及び分野の変更等に関する基準 (平成十五年文部科学省告示第三十九号) 別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。) についても作成すること。
- 2 私立の大学若しくは高等専門学校等の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。
- 3 開設する授業科目に応じて、適宜科目区分の枠を設けること。
- 4 「授業形態」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。

教 育 課 程 等 の 概 要															
(看護学研究科共同災害看護学専攻 5年一貫博士課程) (既設分)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	開設大学	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
災害看護学の基盤を支える科目群	看護研究	1前	東京医科歯科大学		2		○			1					兼5
	理論看護学	1集	千葉大学		1		○								兼1
	危機管理論	1・2・3前	兵庫県立大学		1		○								兼1
	環境防災学Ⅰ	1・2・3後	高知県立大学		1		○								兼1
	環境防災学Ⅱ	1・2・3後	千葉大学		1		○								兼1
	グローバルヘルス	1・2・3後	東京医科歯科大学		1		○			1					
	災害法制度と政策論	1・2・3後	東京医科歯科大学		1		○			1					兼6
	専門職連携実践論	1・2・3前	千葉大学		1		○								兼3
	災害時専門職連携演習(災害IP演習)	1・2・3集	千葉大学		1			○							兼5
	災害医療学	1・2・3前	日本赤十字看護大学		2		○					1			兼3
	災害心理学	1・2・3前	兵庫県立大学		1		○								兼1
	災害と文化	1・2・3前	千葉大学		1		○								兼3
	災害社会福祉学	1・2・3後	高知県立大学		1		○								兼1
	Professional writing	1・2・3前	高知県立大学		1			○							兼1
	Proposal writing (Research proposal writing skill)	1・2・3前	東京医科歯科大学		1			○							兼5
Program writing (Program proposal writing skill)	1・2・3後	兵庫県立大学		1			○			1				兼1	
小計(16科目)	-			0	18	0	-			3		1			兼33
災害看護学の専門科目群	災害看護学総論	1前	兵庫県立大学		2		○			1					
	災害看護活動論Ⅰ(急性期)	1前	東京医科歯科大学		2		○			1					兼3
	災害看護活動論Ⅱ(亜急性期)	1前	日本赤十字看護大学		2		○					1			兼2
	災害看護活動論Ⅲ(復旧・復興)	1後	千葉大学		2		○			1	1				
	災害看護活動論Ⅳ(備え)	1後	高知県立大学		2		○			2	1				
	災害看護グローバルコーディネーション論	2集	日本赤十字看護大学		2		○			1		1			兼1
	災害看護リーダーシップ・管理論	2前	高知県立大学		2		○			2	1				
	災害看護倫理	2前	兵庫県立大学		1		○			1					
	災害看護理論構築	3前	兵庫県立大学		2		○			1					
	インターンシップⅠ*	1・2・3・4・5通	5大学(共同指導)		5				○	7	3	1			
インターンシップⅡ*	1・2・3・4・5通	5大学(共同指導)		5				○	7	3	1				兼1
小計(11科目)	-			0	27	0	-			7	3	1			兼6
インデペンデント学修科目群	災害看護ゼミナールA	1・2・3	高知県立大学		2		○			2	1				
	災害看護ゼミナールB	1・2・3	兵庫県立大学		2		○			2					
	災害看護ゼミナールC	1・2・3	東京医科歯科大学		2		○			1	1				兼5
	災害看護ゼミナールD	1・2・3	千葉大学		2		○			1	1				
	災害看護ゼミナールE	1・2・3	日本赤十字看護大学		2		○			1					
	インデペンデントスタディⅠ	1・2・3・4・5	高知県立大学		1			○		10	4	1			
	インデペンデントスタディⅡ	1・2・3・4・5	兵庫県立大学		1			○		10	4	1			
	インデペンデントスタディⅢ	1・2・3・4・5	東京医科歯科大学 千葉大学		1			○		10	4	1			
	インデペンデントスタディⅣ	1・2・3・4・5	日本赤十字看護大学		1			○		10	4	1			
	インデペンデントスタディⅤ	1・2・3・4・5			1			○		10	4	1			
小計(10科目)	-			0	15	0	-			10	4	1			兼5
研究支援看護学群	災害看護研究ゼミナール	1後	5大学(共同指導)		5		○			7	3	1			兼1
	実践課題研究	2通	5大学(共同指導)		5			○		10	4	1			
	災害看護研究デベロップメント	3前	5大学(共同指導)		5			○		7	3				
	博士論文	3~5	5大学(共同指導)		5			○		7	2				兼1
小計(4科目)	-			15	5	0	-			10	4	1			兼1
合計(41科目)		-			15	65	0	-			10	4	1		兼43

学位又は称号	博士（看護学）	学位又は学科の分野	保健衛生学関係（看護学関係）
卒業要件及び履修方法 標準修業年限の5年以上在籍し、修了要件50単位以上の単位を修得した者が必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び論文の内容や専門分野に関する口述ないし筆記試験に合格することを要件とする。 修了要件50単位のうち、「災害看護学の基盤となる科目群」から6単位以上、「災害看護学の専門科目群」から10単位以上を修得し、かつ「インターンシップⅠ」「インターンシップⅡ」のいずれか1科目以上を履修すること。 また、それぞれの構成大学において10単位以上を修得すること。 *は選択必修科目	開設大学	開設単位数(必修)	授業期間等
	高知県立大学	15 (3)	1学年の学期区分 2期
	兵庫県立大学	16 (3)	1学期の授業期間 16週（試験期間含）
	東京医科歯科大学	15 (3)	1時限の授業時間 90分
	千葉大学	15 (3)	
	日本赤十字大学	14 (3)	
※インデペンデントスタディの単位は含まない			

(注)

- 1 学部等、研究科等若しくは高等専門学校の学科の設置又は大学における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には、授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等、研究科等若しくは高等専門学校の学科（学位の種類及び分野の変更等に関する基準（平成十五年文部科学省告示第三十九号）別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。）についても作成すること。
- 2 私立の大学若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。
- 3 開設する授業科目に応じて、適宜科目区分の枠を設けること。
- 4 「授業形態」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。